

## 遠隔指揮を確認

大成ロテック、休日の  
大地震想定しBCP訓練

大成ロテックは10日、冬の休日に都心南部で大地震が発生したという想定で事業継続計画（BCP）訓練を実施した。写真。グループ会社を含む約1500人が参加した。埼玉県鴻巣市



の鴻巣研修センターに災害対策本部を立ち上げ、社員とその家族の安否確認、全国の拠点との通信確認の訓練などを実施。各対策本部長による遠隔指揮が執れることも確認した。

午前6時に地震が発生したと想定。本来災害対策本部を立ち上げる東京都新宿区の本社に障害が発生したとして、非常用電源設備を備えた鴻巣研修センターを代替拠点とし、ウェブ会議システムなどを使った初動体制構築までの流れを確認した。各対策本部長が災害対策本部に参集できないケースを想定した訓練もを行い、自宅最寄りの拠点から遠隔指揮を執った。

初動体制の確認後は、自社拠点や取引先拠点の被災状況確認訓練、備蓄している災害用資機材の供給訓練、災害協定得意先の支援要請への対応訓練などを実施し、災害への備えを固めた。

訓練後に講評した西田義則社長は「災害時に一刻も早く国民の生活を元に戻すために道路を復旧させることは、当社の重要な役割。それを常に念頭に置き、舗装工事業者であるわれわれは常日ごろから行動するべきだ」と話した。